

教育・研究業績報告

< 2002年1月~12月 >

理学療法学科

1. 学術論文

- 1) 宮本謙三, 岡部孝生, 竹林秀晃, 宮本祥子, 宅間 豊, 井上佳和, 上野真美: 運動学習過程における主観的運動理解の変容. 理学療法学 29 (4) : 105-112, 2002.
- 2) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 上野真美, 宮本祥子, 竹林秀晃, 岡部孝生: 臨床実習成績に対する妥当性の認識と帰属要因の関連. 理学療法ジャーナル, 36 : 883-887, 2002.
- 3) 宮本謙三, 岡部孝生, 竹林秀晃, 井上佳和, 宅間 豊, 宮本祥子, 上野真美: 理学療法教育における臨床実習指導者の勢力源泉. リハビリテーション教育研究 7 : 32-34, 2002.
- 4) 岡部孝生, 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 竹林秀晃, 上野真美, 宮本祥子: 臨床評価実習前の不安要因. リハビリテーション教育研究 7 : 19-21, 2002.
- 5) 宮本謙三, 岡部孝生, 竹林秀晃, 井上佳和, 宅間 豊, 宮本祥子, 上野真美: 運動学習過程における主観的運動把握の変容. 四国理学療法士学会誌 24 : 65-66, 2002.
- 6) 竹林秀晃, 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 岡部孝生, 上野真美, 宮本祥子: 対側・両側同時筋力発揮時における脊髄運動細胞の動態. 四国理学療法士学会誌 24 : 29-30, 2002.
- 7) 岡部孝生, 宅間 豊, 井上佳和, 竹林秀晃, 宮本謙三, 上野真美, 宮本祥子, 東川 裕: Wall squat holds における大腿四頭筋の疲労特性. 高知県理学療法 9 : 18-22, 2002.
- 8) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 宮本祥子, 竹林秀晃, 上野真美, 岡部孝生: 理学療法学生における臨床実習成績の原因帰属傾向. 高知県理学療法 9 : 12-17, 2002.
- 9) 井上佳和, 駒井節-夫, 宮本謙三, 宅間 豊, 宮本祥子, 竹林秀晃, 岡部孝生: 有酸素性トレーニングとレジスタンストレーニングの併用がPeak VO2に及ぼす影響. 土佐リハビリテーションジャーナル 1 : 1-9, 2002.
- 10) 宅間 豊, 岡部孝生, 竹林秀晃, 井上佳和, 宮本謙三, 宮本祥子, 東川 裕: スクワット肢位保持における大腿四頭筋の血液量および代謝の動態. 土佐リハビリテーションジャーナル 1 : 11-18, 2002.
- 11) 岡部孝生, 宅間 豊, 宮本祥子, 井上佳和, 宮本謙三, 竹林秀晃: 低周波電気刺激が筋血液量および酸素化動態に及ぼす影響 - 異なる刺激周波数による検討 -. 土佐リハビリテーションジャーナル 1 : 19-25, 2002.
- 12) 宮本謙三, 竹林秀晃, 宅間 豊, 井上佳和, 宮本祥子, 岡部孝生, 坂上 昇, 森岡 周, 舟橋明男: 運動の両側性転移に関する実験的研究 筋力トレーニングの対側転移 . 土佐リハビリテーションジャーナル 1 : 27-32, 2002.
- 13) 竹林秀晃, 宮本謙三, 宮本祥子, 宅間 豊, 井上佳和, 岡部孝生: 等速性運動における両側性機能低下の筋電図学的分析 - 筋収縮様式・角速度の違いに着目して -. 土佐リハビリテーションジャーナル 1 : 33-40, 2002.

2. 学会発表

- 1) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 上野真美, 宮本祥子, 竹林秀晃, 岡部孝生: 運動内観を指標にした運動指導の可能性. 第37回日本理学療法学会大会. 静岡県, 2002.
- 2) 宅間 豊, 岡部孝生, 竹林秀晃, 井上佳和, 宮本謙三, 宮本祥子, 上野真美, 東川 裕: Wall squat holds における大腿四頭筋の循環および代謝動態の検討. 第37回日本理学療法学会大会. 静岡県, 2002.

- 3) 井上佳和, 竹林秀晃, 宅間 豊, 岡部孝生, 上野真美, 宮本祥子, 宮本謙三: ストレッチングが局所筋酸素動態に及ぼす影響. 第37回日本理学療法学会. 静岡県, 2002.
- 4) 竹林秀晃, 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 岡部孝生, 上野真美, 宮本祥子: 一側・両側同時筋力発揮時におけるH波の変化. 第37回日本理学療法学会. 静岡県, 2002.
- 5) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 竹林秀晃, 岡部孝生, 宮本祥子: 運動の左右転移における鏡像学習の影響. 第31回四国理学療法士学会. 高知県, 2002.
- 6) 宅間 豊, 岡部孝生, 竹林秀晃, 井上佳和, 宮本謙三, 宮本祥子: 反復等尺性運動における内側広筋の循環および酸素動態. 第31回四国理学療法士学会. 高知県, 2002.
- 7) 井上佳和, 宅間 豊, 岡部孝生, 宮本祥子, 竹林秀晃, 宮本謙三: インターバル運動休息期のストレッチングの実施が局所筋酸素動態に及ぼす影響. 第31回四国理学療法士学会. 高知県, 2002.
- 8) 岡崎里南, 榎 勇人, 野村卓生, 森本隆浩, 山本博司, 川上照彦, 石田健司, 宮本謙三: 新生児理学療法における行動観察に基づいた個別的介入の有用性 NIDCAPを用いて. 第31回四国理学療法士学会. 高知県, 2002.
- 9) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 上野真美, 宮本祥子, 竹林秀晃, 岡部孝生: 道徳性発達理論に基づく情意教育の展開. 第8回リハビリテーション教育研究大会. 福井県, 2002.
- 10) 宮本謙三, 宅間 豊, 井上佳和, 上野真美, 宮本祥子, 竹林秀晃, 岡部孝生: 運動の学習過程と内観の記述報告. 第3回認知運動療法学会. 京都府, 2002.
- 11) 井上佳和, 竹林秀晃, 宅間 豊, 岡部孝生, 上野真美, 宮本祥子, 宮本謙三: レジスタンストレーニングがPeak VO₂に及ぼす影響. 第15回高知県理学療法学会. 高知県, 2002.
- 12) 榎 勇人, 山本昌樹, 野村卓生, 山本博司, 川上照彦, 石田健司, 竹林秀晃: 正常歩行のcadence変化における重心制御について Jerk-cost関数を用いて. 第15回高知県理学療法学会. 高知県, 2002.
- 13) 岡崎里南, 榎 勇人, 野村卓生, 森本隆浩, 山本博司, 川上照彦, 石田健司, 宮本謙三: 行動観察に基づき個別的介入を施行した新生児理学療法の有用性. 第24回国立大学理学療法士学会. 山形県, 2002.

作業療法学科

1. 学術論文

- 1) 淡野義長, 片岡愛子, 畑田早苗, 白井里佳, 森下祥朋, 竹内亜紀, 板東奈保子: 学生の性格特性・ストレス・ライフスタイルが学業成績に与える影響について. 土佐リハビリテーションジャーナル 1: 41-44, 2002.
- 2) 畑田早苗, 新井恵子, 西岡由江: SSTを効果的に活用して適応的な行動変容に向かった事例について. 土佐リハビリテーションジャーナル 1: 45-50, 2002.